

## 最近よくきく「ワークショップ」ってなに？

5月6日付の読売新聞に「日本発 新教育モデル OECDと開発へ 『創造力』『解決力』育む」という記事がありました。その教育モデルの一つとして「ワークショップ」方式を多く取り入れた授業があげられています。では、ワークショップとは何なのでしょう。様々な定義がありますが、今回はその中の一つの定義と実践例を紹介します。

学習観	結果
行動主義学習観	できる
認知主義学習観	わかる
社会構成主義学習観	わかちあう



ワークショップ

(2012、荻宿俊文)

### 例 (わかちあうワークショップ)



「Tシャツで話そう！ねえ」

関わりあう喜びを共有するために「ねえ」という呼びかけをキーワードにTシャツにペイントしあう活動。

【工夫点】Tシャツに指で絵や文字を描きあうことで、他者を意識したコミュニケーションを味わう。など

(あさひ de アート 2003、2004 荻宿俊文)

交流学習などの参考になさってください。

参考文献：ワークショップと学び1 まなびを学ぶ 編集 荻宿俊文・佐伯胖・高木光太郎

ワークショップと学び2 場づくりとしてのまなび 編集 荻宿俊文・佐伯胖・高木光太郎 (須井)

## ～楽しい授業づくりをめざして～



中学部肢体不自由学級での取り組みです。今回は、絵本『にんじんとごぼうとだいこん』を通しての、やりとり学習を紹介します。それぞれ役を決め、ストーリーを実際に体験し（子どもができる活動・挑戦しようと思える活動を設定）、その中に効果音、様々な感触の教材、匂いなどを織り込みながら進めます。

子どもの興味・関心や見やすさを考え、読み聞かせは電子黒板に。

視覚

にんじんがお風呂に飛び込む・ごぼうが薪に息を吹きかける→効果音

聴覚

にんじんがお風呂から上がった時→Hot おしぼり（もちろんにんじんに見立てた赤い布にくるんで）

触覚

ごぼう・大根がお風呂から上がった時→土・石鹸の匂い

嗅覚

一人一人の子どもが輝ける場面や、やってみようと思える活動を設定し、様々な感覚に働きかけながら行うことで、笑顔が増え、主体的に取り組む姿が多くなってきたように感じています。実際に本物の野菜を使ってやってみても楽しそう！！

味覚？



(竹村)

